

29日	(ブレイクアウトルーム)第1会場		(ブレイクアウトルーム)第2会場		(ブレイクアウトルーム)第3会場		(ブレイクアウトルーム)第4会場				
9:00	GS1:運動性能	実海域性能シミュレーションによる運航条件および外乱が燃費性能に与える影響の推定 箕浦宗彦, ○横谷直樹 要因毎に結合したカーネル回帰モデルによる軸出力の成分分離 ○箕浦宗彦, 植田雄一, 花木孝明 非線形性を考慮したオートパイロットについての一考察 ○牧敦生, 星野健太, 天野希海, 羽根冬希, 梅田直哉	GS2:水中音響・海中技術	司会: 北澤大輔 (東京大) Daisuke Kitazawa (UTokyo)	Wake-adapted Ducted Propeller for Full-scale Generic Underwater Vehicle - Hydrodynamic Performance of Five-bladed Propeller with Accelerating Duct - ○Kenshiro Takahashi, Chris Gargan-Shingles	GS4:材料・構造解析	司会: 日比茂幸 (防衛大) Shigeoyuki Hibi (NDA)	流体構造連成解析による波浪中浮体梁の弾塑性構造応答に関する研究 ○永富健也, 藤公博, 柳原大輔	GS6:防災・海底資源・鉱物資源	司会: 増田光弘 (海洋大) Mitsuhiro Masuda (Kaiyodai)	直立筒状柔軟体群による津波減勢装置の開発-"フレキシブルパイプ"による津波被害低減法- 鈴木博善, 中尾允哉, 柄崎和孝, 東克彦, 都築浩, 堤英伸, 二村洋一, 佐藤弘樹, 永井辰樹, ○文野浩樹
船外機付き滑走艇の加速発達シミュレーション 片山徹, ○絹笠瑞基, 河添修平, 南葉正浩		Wake-adapted Ducted Propeller for Full-scale Generic Underwater Vehicle - Parametric Study on Duct Length for Self-propulsive Performance - ○Kenshiro Takahashi, Chris Gargan-Shingles			上下方向加速度を受ける粒状貨物による船倉内圧の模型試験に基づく調査 ○吉岡龍一, 石橋信哉, 藤公博, 石橋公也, 杉本圭, 柳本史教, 柳原大輔			海底環境の模擬に向けた不連続体解析手法の検証 ○古庄一輝, 橋本博公			
横揺れ減衰力造渦成分の回転中心高さと浅喫水影響 片山徹, ○吉田尚史, 山本裕介, 柏木正, 池田良穂		SEA法による船舶の水中騒音解析技術 ○石井江里子, 大越茂宏			海氷の微視構造と強度特性の関係 -海氷ブライン含有量と曲げ強度の関係の経験的考察- 布川大暉, 尾関俊浩, 安達聖, ○澤村淳司			海洋鉱物資源開発におけるエアリフトポンプの非常シミュレーション ○高野慧, 正信聡太郎			
国際470級セーリングヨットの風下航におけるバンピングの効果に関する非線形力学的考察 ○瀬川教文, 梅田直哉		風洞における模型ドリルパイプの挙動計測 鈴木博善, 井上朝哉, ○古賀太斗, 小笹卓海			船体構造に生じる非線形応力の極値統計予測 -第1報: 平均ゼロの2応力成分から成るVon-Mises応力および合力応力- ○松井貞典						
10:00	GS1:運動性能	船外機付き滑走艇の加速発達シミュレーション 片山徹, ○絹笠瑞基, 河添修平, 南葉正浩	GS2:水中音響・海中技術	司会: 北澤大輔 (東京大) Daisuke Kitazawa (UTokyo)	GS4:材料・構造解析	司会: 日比茂幸 (防衛大) Shigeoyuki Hibi (NDA)	GS6:防災・海底資源・鉱物資源	司会: 増田光弘 (海洋大) Mitsuhiro Masuda (Kaiyodai)	直立筒状柔軟体群による津波減勢装置の開発-"フレキシブルパイプ"による津波被害低減法- 鈴木博善, 中尾允哉, 柄崎和孝, 東克彦, 都築浩, 堤英伸, 二村洋一, 佐藤弘樹, 永井辰樹, ○文野浩樹		
11:00		国際470級セーリングヨットの風下航におけるバンピングの効果に関する非線形力学的考察 ○瀬川教文, 梅田直哉								海難審判庁裁決録に基づく我が国沿岸の座礁事故データベース構築とその類型化について ○山田安平	ひずみセンサー情報と数値モデルによる船体変形の推定に関する研究-第2報: 実船計測データへの適用- ○三宅雄登, 辰巳晃, 飯島一博, 藤久保昌彦
11:00	GS1:運動性能	Effect of False Bottom to the KCS under Pure Yawing Motion in Shallow Water (H/T=1.2) - Preliminary study by means of viscous CFD- ○Nobuaki Sakamoto, Takuya Ohmori, Kunihide Ohashi, Hiroshi Kobayashi	GS3:安全性・信頼性	司会: 瀧行泰河 (横国大) Taiga Mitsuyuki (YNU)	GS5:構造解析・腐食・疲労強度	司会: 岡正義 (海技研) Masayoshi Oka (NMRI)	GS7:海洋資源開発	司会: 高木健 (東京大), 和田良太 (東京大) Organizers: Ken Takagi (UTokyo), Ryota Wada (UTokyo)	船舶運航中の推進軸系アライメント変動の計測 ○滝下峰史, 荒木要, 白藤司, 松田真理子	等価波浪頻度分布に基づく非計測箇所の疲労被害度推定手法の検討 ○井上拓海, 武内崇晃, 大沢直樹	台風通過海域における係留システムの極値統計解析 ○渡邊雅治, 和田良太
11:00		MPS法における自由表面の取り扱いに関する考察 ○横山雄大, 飯田隆人							FSAにおける費用対効果評価の閾値設定手法の開発 ○柚井智洋	海水バラストタンク乾湿交番環境における鋼材腐食速度の過渡変化評価 ○林原仁志, 石渡隼也, 井上朝哉, 高田篤志, 大沢直樹, 小島隆志	物理モデル解析結果を用いた機械学習による掘削地層岩質予測 ○井上朝哉, 中川友進, 勝井辰博, 和田良太, Bilen Hakan, 鈴木博善
11:00		確率外乱が針路不安定性に与える影響に関する一考察 ○牧敦生, 星野健太, Leo DOSTAL, 丸山湧生, 羽根冬希, 芳村康男, 梅田直哉									コネクタレス海洋探査システム開発に向けたシステムの実現性評価 ○石渡隼也, 井上朝哉, 栗井郁雄
12:00											

29日	(ブレイクアウトルーム)第1会場	(ブレイクアウトルーム)第2会場	(ブレイクアウトルーム)第3会場	(ブレイクアウトルーム)第4会場				
13:00	【各ポスタールームで実施】 ポスターセッションコアタイム							
14:00	GS7:生産・溶接 司会: 榎方和夫 (東京大) Kazuo Hiekata (U Tokyo)	モーションセンサを用いた造船作業者の作業分類と特徴把握によるセンサ数最小化に関する研究 ○冠野雅人, 平田法隆, 濱田邦裕	GS8:運動性能 司会: 北川泰士 (海技研) Yasushi Kitagawai (NMRI)	デュアルフィルタに基づく船体運動データの同化による heave-pitch 連成運動モデルの推定 ○花木孝明, 箕浦宗彦, 高岡美那	Development of Strength Evaluation Method of Hull Structures Using Monitoring data -Full Revision of Part C of ClassNK Rules- OS3: モニタリングデータ等を活用した構造強度評価手法の開発 ~船舶規則C編全面改正~ オーガナイザー: 角洋一 (横国大), 有馬俊明 (日本海事協会) Yoichi Sumi (YNU), Toshiro Arima (ClassNK)	構造強度規則の全面見直しについて ○石橋公也 実海域での船舶遭遇海象における操船影響の定量的評価に関する研究 (第3版) ○見良津黎, 福井努, 朱庭耀 AIS データに基づく波浪荷重予測 (全球での波浪縦曲げモーメントの最大値と発生海域) ○岡正義, 馬沖 最新の板厚計測データに基づく腐食予偏厚の設定 ○杉本友宏, 山本規雄, 石橋公也	GS9:浮体応答 司会: 村根基彦 (横国大) Motohiko Murai (YNU)	規則波中におけるコラム付き円柱状浮体のヒープ運動応答予測 ○大川諒也, 宋明良
		マルチエージェントシステムに基づく造船用高精度建造シミュレーションに関する基礎的研究 ○谷口智之, 竹澤正仁 船体壁面移動ロボット用の磁気吸着ユニット 松葉佐悟仁, ○木村元		4 自由度操縦運動数学モデルのパラメータ推定 ○佐藤雅裕, 寺田大介, 松田秋彦		Application of Linear Filter and Moment Equation for Parametric Rolling in Irregular Longitudinal Waves ○Yuuki Maruyama, Atsuo Maki, Leo Dostal, Naoya Umeda		AIS データに基づく波浪荷重予測 (全球での波浪縦曲げモーメントの最大値と発生海域) ○岡正義, 馬沖 最新の板厚計測データに基づく腐食予偏厚の設定 ○杉本友宏, 山本規雄, 石橋公也
15:00	司会: 津村秀一 (海技研) Shuichi Tsumura (NMRI)	深層学習を用いた溶接ビード外観自動検査手法構築に向けたハイパーパラメータ自動探索法と入力データ処理法に関する一検討 ○渡辺範弘, 山崎賢人, 後藤浩二	司会: 箕浦宗彦 (大阪大) Munehiko Minoura (OsakaU)	姿勢安定装置付きスパーバイの小型化による波浪中運動特性 ○山本裕介, 片山徹, 橋本博公, 後藤正洋	Development of Strength Evaluation Method of Hull Structures Using Monitoring data -Full Revision of Part C of ClassNK Rules- OS3: モニタリングデータ等を活用した構造強度評価手法の開発 ~船舶規則C編全面改正~ オーガナイザー: 角洋一 (横国大), 有馬俊明 (日本海事協会) Yoichi Sumi (YNU), Toshiro Arima (ClassNK)	船体運航支援統合プラットフォーム「Sea-Navi2.0」による鉱石運搬船のハレモニタリング ○平川真一, 吉田智美, 関紀明	三次元離散渦法におけるメッシュサイズの影響について ○原田脩, 田中義和	
		レーザ熱源を利用した突合せ継手の仮付溶接方法に関する考察 ○上村崇杜, 後藤浩二		横移動船舶に作用する流体力特性の数式船型を用いた分析 ○小原啓太郎, 西尾茂, 高松賢一, 勝井辰博		円盤状コラムを有する構造物に作用する波荷重 ○伊藤樹里, 宋明良		
16:00	【メインルームで実施】 会長挨拶 藤久保昌彦							
	【メインルームで実施】 特別講演 1 : 台風科学技術研究センターとタイフーンショット計画(仮) 筆保弘徳							
17:00								

30日	(ブレイクアウトルーム)第1会場	(ブレイクアウトルーム)第2会場	(ブレイクアウトルーム)第3会場	(ブレイクアウトルーム)第4会場			
9:00	<p>OS1: 自動着積技術とその応用 Automatic Berthing</p> <p>オーガナイザー: 牧敦生 (大阪大), 澤田涼平 (海技研) Organizers: Atsuo Maki (OsakaU), Ryohel Sawada (NMRI)</p>	<p>GS10: 地球環境・保安</p> <p>司会: 間島隆博 (海技研) Takahiro Majima (NMRI)</p>	<p>GS12: 海洋波・風・流れ</p> <p>司会: 西佳樹 (横国大) Yoshiki Nishi (YNU)</p>	<p>Comparison of Prediction Methods of Finite-depth Water Waves Among Fourier Transform and Impulse Response Functions</p> <p>○Md Shahidullah Kaiser, Takahito Iida</p> <p>Development of Tidal current Numerical Model, around Tamanoura bay of Goto Islands, Nagasaki</p> <p>○Amr Essam Elrefaey, Patxi Garcia Novo, Ikuo Yamamoto</p> <p>短時間船体応答計測に基づく時間領域波浪推定</p> <p>○高見朋希, 陳曦, 岡正義</p>			
10:00					<p>○加減速誤差, 航路誤差とリーチ見積もりの修正による船体位置決め制御の性能向上</p> <p>○羽根冬希</p> <p>自動着積における曲線経路追従制御</p> <p>○澤田涼平, 平田宏一</p> <p>着積制御に向けた不規則風外乱下における経路追従及び定点保持制御の強化学習を用いた獲得手法について</p> <p>○脇田康希, 牧敦生, 秋本洋平, 巢山凜, 宮内新喜, 青木佑介, 梅田直哉</p> <p>Nonlinear Filtering for Low speed Maneuvering motion using a 3DoF Maneuvering Model</p> <p>○Hiroaki Koike, Leo Dostal, Yoshiki Miyauchi, Nozomi Amano, Yuta Fueki, Atsuo Maki, Naoya Umeda</p> <p>遺伝的プログラミングを用いた船体運動モデル同定における入力端子の影響について</p> <p>○巢山凜, 牧敦生, 宮内新喜, 白川真一</p> <p>Warm-started Online Trajectory Planner for Ship's Docking (Berthing) under Wind Disturbance</p> <p>○Dimas M. Rachman, Atsuo Maki, Naoya Umeda</p> <p>離着積・低速時複雑運動を再現する四象限Abkowitzモデル</p>	<p>コンテナターミナルでのCO2排出削減方策 -博多港の実証実験を踏まえた省工技術からのアプローチ-</p> <p>○篠田岳思, 杉村佳寿, Tiago Novaes Mathias, 霧野祐馬, 阿野貴史</p> <p>外来シャーマシのCO2排出量の把握のための荷役シミュレーションの構築</p> <p>○霧野祐馬, 篠田岳思, Tiago Novaes Mathias, 杉村佳寿, 阿野貴史</p> <p>荷役ビッグデータ分析によるコンテナターミナル内の荷役機器のCO2排出量の把握方法</p> <p>○Tiago Novaes Mathias, 篠田岳思, 杉村佳寿, 霧野祐馬, 阿野貴史</p> <p>カーボンニュートラルポート実現に向けた港湾と船舶のインターフェイスのあり方</p> <p>○杉村佳寿, 篠田岳思, Tiago Novaes Mathias, 霧野祐馬, 阿野貴史</p>	<p>MEMSセンサを用いた波浪計測機器開発の試み</p> <p>○小平翼, 麻崎和夫, 勝野智高, 野瀬毅彦, 藤原泰, 内山亮介, Jean Rabault, Joey Voermans, 早稲田卓爾</p> <p>自律型海中ロボットのタスク選択経路最適化モデルの構築</p> <p>○竹川源太郎, 有馬正和</p>
11:00					<p>○宮内新喜, 牧敦生, 秋本洋平, 梅田直哉</p> <p>操船システムの実装と評価を繋ぐデジタルツイン環境の実現(第1報)-自動運船の研究開発を促進する汎用的実機システムの構築-</p> <p>○和田翠星, 牧敦生</p> <p>自動運航性能評価のための不規則風外乱の高速計算アルゴリズムの開発</p> <p>○牧敦生, 丸山湧生, Leo DOSTAL, 酒井政宏, 澤田涼平, 笹健児, 梅田直哉</p>	<p>GS11: 海運・物流</p> <p>司会: 青山和浩 (東京大) Kazuhiro Aoyama (UTokyo)</p> <p>Ship Utilization for Transporting Relief Supplies after the Nankai Trough Earthquake -Ferry/RORO Fleet Transportation in Japan Sea during Push-type Transportation Term-</p> <p>○Hiroshi Matsukura, Taro Aratani, Takahiro Majima</p> <p>国際海運における二酸化炭素削減方策検討のためのインタラクティブシミュレーション</p> <p>○虎谷大地, 馬沖, 吉田隼基, 大西弘益, 河邊拓樹, 袴方和夫</p> <p>海上物流ビッグデータを利用した配船モデルの構築と船舶需要創出のためのシミュレーション</p> <p>○河村駿, 濱田邦裕, 和田裕次郎, Dimass Anga Fakhri Muzhoffar</p>	<p>GS13: 海洋調査・観測技術</p> <p>司会: 巻俊宏 (東京大) Toshihiro Maki (UTokyo)</p> <p>自律型洋上ピークルの運動制御システムの開発〜外乱影響の低減に向けて〜</p> <p>○衣笠彩乃, 有馬正和</p> <p>主翼独立制御型水中グライダーの制御システム開発</p> <p>○小畠かな子, 有馬正和</p> <p>AUVによる極域探査のための複雑地形の追従手法 -シミュレーションによる性能評価-</p> <p>○小知井秀馬, 山縣広和, 巻俊宏</p>
12:00							

30日	(ブレイクアウトルーム)第1会場	(ブレイクアウトルーム)第2会場	(ブレイクアウトルーム)第3会場	(ブレイクアウトルーム)第4会場			
13:00	【メインルームで実施】 特別講演2: ふね遺産マーメイド号 堀江謙一 (ふね遺産認定実行委員会による、ふね遺産のPR、及び、第5回認定案件の報告を含む)						
14:00	OS2: FBGセンサーを活用した計測・実験技術 Experimental techniques utilizing FBG sensor オーガナイザー: 北川泰士 (海技研), 宝谷英貴 (東京大) Yasushi Kitagawai (NMRI), Hidetaka Houtani (UTokyo) 	GS14: 推進性能 	Chiharu Kawakita (NMRI) 	Actuator Lineモデルを用いた格子ボルトzman法による潮流タービンのシミュレーション 			
15:00					F B G センサーを用いた実船ひずみの長期計測結果について ○若原正人, 箕浦宗彦, 深沢塔一 実船計測に向けた大容量FBG 圧力センサの開発と性能評価 ○廣田匡俊, 若原正人, 大塚琢矢, 金井健 分布型光ファイバセンサを用いた一体型コンテナ船弾性模型の曲げ変形の推定 -ステレオカメラによる変形計測との比較- ○宝谷英貴, 三上航平, 小林真輝人, 藤公博, 村山英晶, 鈴木英之 FBG一体型CFRPサンドイッチパネルの制作 ○小林真輝人, 狹野豪治, Magnus Burman, 和田大地, 井川寛隆, 村山英晶 FBGひずみセンサを用いた波浪中船体構造応答の計測 ○小森山祐輔, 宝谷英貴, 沢田博史, 岡正義 FBGを利用したせん断応力計の開発 ○拾井隆道, 濱田達也, 川北千春 プロペラ回転流が波浪中船尾圧力に及ぼす影響に関する実験的研究 ○北川泰士, 塚田吉昭, Kurniawan Teguh Waskito FBG圧力センサの温度干渉影響について ○鈴木寛太郎, 岩下英嗣, 柏木正, 若原正人, 飯田隆人, 箕浦宗彦 波浪中抵抗増加分布の数値計算に関する検討 ○飯田隆人, 鈴木寛太郎	ダクト効果を有する非対称断面ツイン舵船型の開発 (第9報 水中放射雑音計測結果) ○矢澤真樹, 栗林定友, 稲田博久, 木村校優, 武田俊文, 黒河保, 小山田俊英, 角谷拓紀, 深澤正樹, 佐々木紀幸 CFDによる柱状滑走体の流体力計算-ステップ付柱状滑走体と実船サイズの柱状滑走体- 片山徹, ○山口航平, 大関昌平, 曾我匡統, 渡辺敏夫 初代青雲丸模型の制限水路影響に関する数値的検討 ○新井淳, 毛利隆之	Actuator Lineモデルを用いた格子ボルトzman法による潮流タービンのシミュレーション ○渡辺勢也, 胡長洪, 後藤優弥 浮体式洋上風力発電設備のダイナミックケーブルへの付着生物調査結果 ○大窪慈生, 三谷俊輔, 東谷修, 湯藤尚人, 新里英幸, コマティアス アドリアン コサン, 竹内海智, 鈴木英之 唐津沿岸の波エネルギー資源に関する研究 ○今井康貴, 永田修一
16:00					Yohrei Takagi (YNU) 	高速2輪船における船尾水中翼の効果検証 ○日田吉信, 秋山慧, 筒本達大, 横山徳幸 Effectiveness of Bulbous Rudder with Horizontal Fins on the Propulsion Performance of Ship in Waves ○Win Naing Htay, Benson Oyunge Mwangi, Hina Matsuura, Yasuyuki Toda プロペラピッチ分布と複数の省エネ付加物の干渉影響に関する研究 ○岡田善久, 片山健太, 小林洋祐, 拾井隆道, 若生大輔, 一ノ瀬康雄, 安東潤	Roll and Pitch Motion of a Floating/Submersible Tidal Current Turbine ○Patxi Garcia Novo, Yusaku Kyozuka 洋上風況観測システム「BuoyLidar」の動揺特性と風況観測精度 ○加藤稜一朗, 大澤輝夫, 麻生裕司, 小林英一, 井上美, 小玉亮, 大西健二, 上原謙太郎, 圓尾太郎
17:00							